

- 問1 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。 | 2. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。 | 3. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。 | 4. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。 |
|--|---|---|--|
- 問2 北海道の農業経営に関する統計を分析すると、経営耕地面積が30ha以上の大規模な農家が6割以上を占める一方で、都府県では1.0ha未満の農家が半数以上を占めるという対照的な構造が見られます。また、北海道では農業を主な仕事とする「主業農家」の割合が約74%に達しています。このように北海道で主業農家の割合が極めて高い理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都府県に比べて冬の農閑期が長い
ため、冬の間だけ工業地帯へ出稼ぎ
に行く農家が全農家の約8割を占めて
いるから | 2. 広大な土地を利用して、小規模な
水田では不可能な低コストの米作り
を行い、全国の米需要のほとんどを
賄っているから | 3. 消費地である大都市から遠く離れ
ているため、輸送費を節約するため
に加工品を専門に作る農家が急増し
たから | 4. 1戸あたりの経営規模が大きく、
大型機械を用いた効率的な生産によ
って、農業のみで十分な所得を得る
ことが可能だから |
|---|---|---|--|
- 問3 北海道地方の気候の特色について、6月から7月にかけての状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 南東から吹き込む湿った季節風の
影響により、本州よりも早く本格的
な雨期が訪れる。 | 2. 停滞前線が長期間にわたって停滞
するため、年間で最も降水量が多い
時期となる。 | 3. 梅雨の影響をほとんど受けないた
め、本州以南で見られるような長期
間の雨期がはっきりしない。 | 4. 北東から吹く冷たい風（ヤマセ）
の影響で、この時期だけ急激に降水
量が増加する。 |
|--|--|---|---|
- 問4 北海道の太平洋沿岸部において、夏に発生する濃い霧（海霧）の発生メカニズムについて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。（2024年 石川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 北西から吹く冷たい季節風が、暖
流である黒潮（日本海流）によって
温められるため。 | 2. 南東から吹く乾いた季節風が、寒
流であるリマン海流によって冷やさ
れるため。 | 3. 南東から吹く湿った季節風が、寒
流である親潮（千島海流）によって
冷やされるため。 | 4. 北西から吹く湿った季節風が、暖
流である対馬海流によって温められ
るため。 |
|--|---|--|--|
- 問5 北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。（2024年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 農業経営体の総数は減少したが、
団体経営の数は増加し、経営の集約
化が進んだ | 2. 農業経営体と団体経営の数がとも
に増加したため、耕地の奪い合いが
起きた | 3. 団体経営の割合が低下したため、
一経営体あたりの経営耕地面積は縮
小した | 4. 経営耕地面積が微減した主な原因
は、団体経営の数が大幅に減少した
ことにある |
|---|---|---|---|
- 問6 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 自然環境を保護するために、市街
地の面積を昭和初期の規模にまで縮
小させたため。 | 2. 都市化の進展に伴い、居住空間の
確保やエネルギー供給の必要性が高
まったため。 | 3. 交通網の衰退により、郊外からの
人口流出が激しくなり、土地が放置
されたため。 | 4. 食料自給率を向上させるために、
都市部の建物を壊して農地を拡大す
る政策がとられたため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 一年を通して月平均気温が東京よ
りも高く、12月から2月の降水量は
東京より少ない。 | 2. 夏の気温は東京と同程度まで上昇
するが、冬は乾燥した北東の季節風
の影響で降水量が減る。 | 3. 1月の平均気温は0度を上回るが、
北西の季節風の影響で冬の降水量が
東京より多くなる。 | 4. 一年を通して月平均気温が東京よ
りも低く、12月から2月の降水量が
東京を上回る。 |
|---|---|--|--|
- 問8 北海道の石狩平野において、かつて広範囲にわたって見られた、水分を多く含む植物の遺体が分解されずに積み重なってできた土地を何といいますか。この土地はもともと農業には適さない湿地帯でしたが、客土などの土地改良により現在は大規模な稲作地帯となっています。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|--------|-----------|
| 1. 泥炭地 | 2. シラス台地 | 3. 干拓地 | 4. カルスト地形 |
|--------|----------|--------|-----------|
- 問9 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な土地を生かした大規模な農
業が行われ、小麦の収穫量が多く畑
作や畜産業が盛んである。 | 2. 豚の飼育数は全国最多であるが、
寒冷な気候のため小麦などの畑作は
ほとんど行われていない。 | 3. 大都市への輸送に恵まれた近郊農
業が中心で、国内航空乗客数は全国
で最も少ない。 | 4. 温暖な気候を利用して米の二期作
が行われ、輸送用機械器具の出荷額
が全国有数である。 |
|--|--|---|---|
- 問10 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|------------------------------------|
| 1. 単位面積あたりの農業従事者数と
、一人あたりの肥料使用量 | 2. 農業従事者一人あたりの耕地面積
と、一人あたりのトラクター保有台
数 | 3. 農業従事者一人あたりの農薬使用
量と、一人あたりのビニールハウス
の面積 | 4. 総農家数に占める兼業農家の割合
と、一人あたりの労働時間 |
|------------------------------------|---|---|------------------------------------|
- 問11 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|--------|----------|
| 1. 知床 | 2. 白神山地 | 3. 屋久島 | 4. 小笠原諸島 |
|-------|---------|--------|----------|
- 問12 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海
水を抜き、塩害に強い新たな耕地を
造成した。 | 2. 急傾斜地を階段状に削り、地滑り
を防ぎながら標高の高い場所でも耕
作を可能にした。 | 3. 植物の遺体が堆積した排水の悪い
湿地を改良するため、排水路の整備
や客土が行われた。 | 4. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い
台地を改良するため、大規模な用
水路が建設された。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。	それまでの「北海道旧土人保護法」は、アイヌの人々を日本人の中に同化させることを目指した法律であり、アイヌ独自の文化や言語は否定される傾向にありました。アイヌ文化振興法の制定は、そうした同化政策から、多文化共生社会の実現に向けて、アイヌ独自の民族的誇りや文化的多様性を尊重する方針へと舵を切った重要な転換点となりました。
問2	答え 4 1戸あたりの経営規模が大きく、大型機械を用いた効率的な生産によって、農業のみで十分な所得を得ることが可能だから	北海道では広大な経営耕地面積を活かし、大型のトラクターなどを導入した大規模経営が確立されています。労働生産性が高く、1世帯あたりの農業所得を十分に確保できる環境があるため、他の仕事を持つ必要性が低く、結果として主業農家の割合が高まります。一方で都府県は経営面積が狭いため、農業所得だけで生計を立てることが難しく、多くの農家が兼業化（副業的農家など）しています。
問3	答え 3 梅雨の影響をほとんど受けないため、本州以南で見られるような長期間の雨期がはっきりしない。	北海道は地理的に緯度が高く、本州以南に長雨をもたらす梅雨前線（停滞前線）が北上してくる頃には勢力が弱まったり、消滅したりすることが多いため、明確な「梅雨」が存在しません。これは北海道の大きな気候の特色の一つであり、この時期の降水量が本州に比べて少ないことは、観光や農業における利点となることもあります。
問4	答え 3 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。	日本の夏は、太平洋側の小笠原気団から南東の季節風が吹き込みます。この湿った空気が、北海道の東側の太平洋沿岸を流れる冷たい寒流「親潮（千島海流）」の上を通る際、急激に冷やされることで空気中の水蒸気が水滴に変わり、濃い霧が発生します。冬の北西季節風や、暖流である黒潮・対馬海流とは発生条件が異なります。
問5	答え 1 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ	二〇〇五年から二〇二〇年にかけて、農業経営体数は五百四十七から三百四十九へと減少していますが、団体経営は三十五から四十三へと増加し、その割合は約十二パーセントに達しています。全体の耕地面積に大きな変化がない中で経営体数が減っている事実は、一経営体あたりの規模が拡大し、農業経営が特定の経営体に集約・大規模化されていることを裏付けています。
問6	答え 2 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。	旭川市における土地利用の変化は、日本の多くの地方都市で見られた都市化のプロセスを反映しています。昭和後期から平成にかけて、都市の規模が拡大する中で、かつて農業に使われていた土地や未利用地が、人々の生活の場（住宅地）や社会インフラ（発電所など）へと転換されました。これにより、地域の経済活動や住民の利便性が向上した一方で、周辺の自然景観や農地が減少するという側面も持っています。
問7	答え 4 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。	札幌は高緯度に位置するため、一年を通して東京よりも気温が低く推移し、1月の平均気温は氷点下となります。また、日本海側の気候の特色として、冬に湿った北西の季節風の影響を受けるため、太平洋側に位置し冬に乾燥する東京とは対照的に、12月から2月にかけての降水量（降雪量）が多くなるのが大きな特徴です。
問8	答え 1 泥炭地	石狩川流域に広がる石狩平野の低地には、寒冷な気候により植物が完全に分解されず、炭化した状態で堆積した「泥炭地」が広く分布していました。この土地は非常に水はけが悪く、酸性度も高いため農業には不向きでしたが、明治時代以降、大規模な排水路の整備や、外部から良質な土を運び入れる「客土（きゃくど）」といった土地改良を行うことで、日本を代表する稲作地帯へと変貌を遂げました。
問9	答え 1 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。	北海道では、広い土地を活用して機械化された大規模農業が行われています。特に小麦の収穫量は全国トップクラスであり、酪農や畜産業も盛んです。
問10	答え 2 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数	北海道は明治時代以降の開拓の歴史から、農家一戸あたりの経営規模が他の都府県に比べて非常に大きいという特徴があります。広大な農地を少人数で効率よく耕作するために、トラクターなどの大型機械を積極的に導入した結果、一人あたりの耕地面積およびトラクター保有台数の両項目において、全国平均を大きく上回る統計値を示しています。
問11	答え 1 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問12	答え 3 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。	石狩平野などに広がっていた泥炭地は、非常に排水が悪く、そのままでは稲作に適しませんでした。そこで、大規模な排水路を建設して湿地の水を除き、さらに他の場所から良質な土を運び入れる「客土（かくど）」を行うことで、肥沃な農地に生まれ変わらせました。選択肢にある「火山灰の台地」はシラス台地、「海水を抜く」は干拓に関する説明です。